

ボルグワーナー、現代自動車グループの電気自動車向けに 新型インテグレートド・ドライブ・モジュール(iDM)を供給

- ・ ボルグワーナー製インテグレートド・ドライブ・モジュール (*Integrated Drive Module, iDM*)、2023年発売開始のAセグメント電気自動車(EV)に採用予定
- ・ 同モジュラーコンポーネントを構成するのはeモーター、ギアボックス及びインバーター
- ・ デルファイ・テクノロジーズ社から引き継がれた技術と、ボルグワーナー独自の技術とを融合した初のiDM製品

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frédéric B. Lissalde)は、ボルグワーナー製インテグレートド・ドライブ・モジュール(iDM)が、2023年中頃に生産開始が予定されているAセグメントの次世代EVに採用される電気駆動システムとして、現代グループに選定されたことを発表します。最先端の電気モーター、ギアボックス及び一体型パワーエレクトロニクスを備えたボルグワーナーの新型iDMは、よりクリーンで効率の高い自動車を生産するというミッションにおいて、世界の自動車メーカーをサポートします。

ボルグワーナーが高性能システムとして設計、開発、製造したiDM146は動作電圧400ボルト、最大出力が135kWという並外れた性能を発揮します。高度なトランスミッション技術により動作がスムーズかつ静かです。電気モーターには高電圧ヘアピン技術を採用し、卓越した性能を引き出しています。ギアボックス、400ボルトのシリコンインバーター及びモーターをコンパクトな外径146mmのステーターと一体化することにより、ドライブシステム全体の重量軽減と小型化を実現しました。iDM146のインバーターは、スケーラブルでモジュラーな構造となっており、顧客の要件に合わせて容易にカスタマイズ可能です。

ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長のステファン・デメール博士は「現代自動車グループとは20年近く協業してきましたが、今回は初めての電動化プロジェクトということもあり、新たな一歩を踏み出すという意味で非常に期待感が高まります。特によるこばしいのが、これがデルファイ・テクノロジーズ買収後では初めて両社の技術ポートフォリオを融合したiDM製品であり、2つの組織の長所を十分に引き出した成果であるということです」と述べています。



ボルグワーナー、現代自動車グループの電気自動車向けに インテグレートド・ドライブ・モジュール(iDM)を供給。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー(NYSE: BWA)は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 24 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的な事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の 2019 年 12 月期の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020 年 10 月 1 日に完了したデルファイ・テクノロジーズ社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、当社と AKASOL AG との間で提案されている取引が完了しない可能性、必要な規制当局の承認が得られないこと、または提案されている取引のその他の条件が満たされないこと、提案されている取引の期待される利益の不実現、自動車および

びトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K の第 1A 項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL:03-3571-5326 FAX:03-3574-0316

EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp